



有内先日本為孔院

少者すか上なき南風

日乃也善行 内鬼

見の先申込伏養

とを長選家も結

し事未遂行の百を

得の其事中情本詳

細法養上の後破を

然るに味あるもの

去の深牙養のこれ

既の今も玉の念の

縣連起代主教を

接りり上の以後議

合の対此の強多理

由に直上必全情州の方

法を講し後出内國

未倒し小軍の世に

ハは一人の廣信任

未倒——小軍の力
ハは一人の決信任
如何の有るは将来
大切なる又曖昧の
人懲戒法——中絶
不必用なる事付事
毎に政府を滅下止
止なき止人の反対を
を得ず。場を押し詰
めると「目下余程成
熟なるを要す」と何
れをよる四字二「る六
十位止」ニ干付け儀
場大勢、海軍艦隊
と反対の結ぶるを占め
る大運動致す。必
用可有之る事蓋し
多き事、恫威の怖し使
利する自由派と合し
石油を操りし先
比由國言「又、未割
北一破綻ある事念
北を——海軍

東京女子学園
大隈重信殿
就展



紙

西京園在甲通古条示儿
柏乃尔家三石

角内真平

去日九分